

進路だより るもい

◎留萌管内の求人倍率及び就職内定状況について

留萌管内の求人倍率は昨年度よりも改善の傾向にあり、12月末時点での求人倍率は1.30倍と、前年同期を0.03ポイント上回りました。一方、平成29年3月卒業の留萌管内高卒者の1月末現在の就職内定率は91.9%と、前年同期を4.7ポイント下回りました。

「高校生と保護者の進路に関する意識調査」によりますと、高校生が就職活動で相談する相手は、「家族（親、兄弟）」、「学校の先生」が上位となっています。実は、就職活動における家族からのサポートは、高校生にとって非常に重要なのです。今号では家族からの就職活動・職場定着のサポートについて特集いたしますので、参考にしてください。

家族で就職をサポートする

◎ 社会人としての基礎は、家庭生活から

新規高卒者を採用する時、多くの企業がコミュニケーション能力を重視しています。一方、携帯電話やスマートフォンのメールでの単語や短文でのやりとりが日常のコミュニケーション手段の一つとなっている現状では、正しい言葉遣いが身に付いていなかったり、自然な会話ができなかったりする若者が増えているという指摘もあります。保護者の皆様には、日頃から多少の危機感をもって、御家庭での挨拶や会話などを大切にしながら、お子様のコミュニケーション能力を育てていただきたいと思います。

ちなみに、家ではあまり話さないけれど、学校では社会的で賑やか、というようなギャップもよく見られます。お子様がどのような学校生活を送っているのか、担任や部活動の顧問と話して現状を把握してみることも一つの方法です。

◎ 職業選択に当たってのアドバイスは、保護者としてではなく人生の先輩として

お子様の職業選択に際し、保護者の意見は大きな影響を与えます。だからこそ、保護者の立場から一方的に自分の価値観を押しつけるのではなく、まずお子様の考えを肯定的に聴き、次に、御自身の御経験などを基に、人生の先輩というスタンスでアドバイスをされるようお願いいたします。

◎ 「仕事を辞めたい」と言ったら

お子様が「仕事を辞めたい」と言ったら、まずはなぜ辞めたいと思ったのか、理由をきちんと聴くようにしてください。社会へ出た最初の頃はどうしても、仕事も人間関係も難しいと感じる場面が多くなります。経験の浅いうちは、なかなか仕事の楽しさには気付けられないものです。御自身の経験を基に、お子様とじっくり話し合うようお願いいたします。

◎ 「働く若者ルールブック」(H29年1月版)の活用

北海道経済部では、高校生向けの「働く若者ルールブック」を、各高校に配布しています。このルールブックは、労働契約や就業規則など、働くに当たって必要な知識が分かりやすく説明されています。お子様が信頼される社会人として充実した生活を送るための一助として活用いただければと思います。また、保護者の皆様も是非お読みいただき、お子様へのアドバイスをお願いします。

なお、今年1月に最新版が発行されました。次のアドレスからダウンロードをすることができます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/rulebook.htm>



進路相談員より<社会に一步踏み出すお子様に向けて、御家庭で心掛けてほしいこと>

- 1 社会人、職業人として生きることなどについて、普段の会話で話題にすること
- 2 新聞やテレビのニュースを話題にするなど、社会の動きに目を向けさせるような雰囲気づくりをすること
- 3 健康管理や時間を守ることなど、自己管理能力を身に付けさせること
- 4 携帯電話やスマートフォンの使用マナーを身に付けさせること